



商工あみ

発行所 阿見町商工会
 阿見町阿見3842-4
 TEL0298-87-0552
 FAX0298-87-0342
 発行責任者 千葉力三

商工会員数 942名
 青年部員数 45名
 婦人部員数 100名

会員事業所に勤務する従業員を対象に、毎年開催している好評の従業員福利厚生事業。今年、『秋の風物詩 鮭狩とバラ園』と題してGO！

毎年大人気でたくさんの方に参加して頂いてますが、商工会下部組織の開催する講習会や研修会にもこれだけの人数が集まったらどんなに嬉しいことか。

【皆さん、講習会・研修会にも参加してください。きつと何か得るものがあるはずですよ。】

やはり1人1000円で、日帰り旅行に参加できるといのが魅力なのだろう。当日になるまでどこに行くのか知らない人も毎年何人かいるようだ。おいおい、気をつけないと怪しい集会に連れて行かれてしまうぞ。



鮭狩り漁

それはさておき、当日は晴天に恵まれ絶好の見学日より。ここは福島県の泉田川鮭狩場。我々のバスが到着すると、泉田川の向こう岸に二艘の船が網を張っているのが見えた。

バスを降りて、川を渡す細い橋をいそいそと進むのだが、眼下の流れを飛沫を上げて湖る鮭の姿に見とれているのか先頭はなかなか前に進まず、我々は川の真中で立ち往生してしまふ。

(写真なんか撮ってないで先に進んでおくれ、早く渡らないと鮭漁が終わっちゃうでしょ。)

なんとか向こう岸に辿り着いて狩場へ急ぐ。すでに数十本の鮭が船に揚げられている。

漁師のおじさんが鮭の尾をつかんで片手で持ち上げては、

もう片方の手に持った棒で、鮭の頭部を叩いて殺す。この一連の作業は見ていて残酷ではあるが、この過程なしには、鮭は我々の食卓まで上がってこない。商工会一行は固唾と涎を飲んでじっと見守る。

船上に投げられた鮭の腹からほろほろとこぼれ落ちてキラキラ輝くイクラのなんと美味しそうなことか。わさびとヨージュとイクラ丼が脳裏をかすめる。お土産は決まった。

想像とちがう

大量の鮭とイクラを買い込んで重量を増したバスはバラ園へ向かう。そこは夢のような一面のばら・バラ・薔薇！そんなたたくさんの薔薇に囲まれて記念写真を撮ろうと思っていたのだが、来て見てびっくり。薔薇はどこ？目を凝らすと確かに咲いてはいるが、どう見ても花より枝葉の方が多い。

薔薇0・5の枝葉9・5といったところだろうか。

「薔薇と美しいワタシ」という写真を期待していた方、これに懲りずに2000年もぜひ参加してくださいね。ね！

最後に気持ちもお腹も満腹にしようとお名浜の海鮮市場で晩御飯のおカズを仕入れて行く。ちなみに筆者は、消費税オマケのささやかなヨロコビと共に生ウニを購入。自宅でイクラ丼を食べ、ウニ丼を食べ、最後にウニ・イクラ丼を...。大変美味しゅうございました。

- 東部地区理事
 松本三男
 吉田幹雄
 小松沢秀幸
 川鍋勝義
- 南部地区理事
 青山一男
 飯村芳夫
 福岡正則
- 西部地区理事
 柏崎久雄
 滝本重貞
- 北部地区理事
 勝田義友
 平林英一
 佐藤幸明
 根本保男
 齊藤幸枝
 宮下達雄
 大谷茂樹
- 青年部長
 齊藤幸枝
- 婦人部長
 宮下達雄
- 監事
 大谷茂樹
- 社団法人
 竜ヶ崎法人会阿見地区分会
 会長 川鍋勝義
 副会長 橋本英之
 副会長 吉田泰明
- 阿見町商工会事務局
 事務局長 葉梨久雄
 経営指導員 野口孝雄
 経営指導員 蛭原康裕
 補助員 金子浩
 補助員 内田文子
 補助員 小野京子
 記帳専任職員 安藤幸子
 パートタイマー 左山陽子



阿見町商工会
 会長 千葉力三

新春を寿ぎ
 謹んでお慶び申し上げます

- 阿見町商工会
 会長 千葉力三
 副会長 飯塚直一
 副会長 日暮好夫
 湖岸地区理事
 米川幸雄
 坂本繁夫
 楠茂三郎
 吉田光男
 梶山英雄
- 中央地区理事
 湯原文男
 藤井重男
 牛込文男
 本園一男
 石部洋介
 島村武蔵
- 阿見町企業連絡協議会
 会長 千葉力三
 副会長 鯉淵光喜
 副会長 勝田義友
 理事長 松本三男
 副理事長 米川幸雄
 副理事長 石部洋介
 副理事長 湯原英雄
- 阿見町青色申告会
 会長 長南俊一
 副会長 松本三男
 副会長 宮下達雄
- 阿見町食品衛生協会
 会長 長南俊一
 副会長 荒井貞夫
 副会長 米川幸雄



パソコンは友達 恐くはないさ!

平成十年度に開催したパソコン教室がとて好評だったので、ひきつぎ十一年度も開催しました(九月二十一日〜十月十五日)



という方々でしたが、とても丁寧な講師の説明と和気あいあいとした教室の雰囲気のおかげ、初心者も安心してパソコンに触れることができ、日ごとに操作がスムーズになってきました。ボタンのたくさん並ぶキーボードやマウスの操作感に戸惑いながらも、自分で操作・入力したものが画面上に次々と現れるのはとても楽しく、普段は長いはずの三時間もあっという間に過ぎて行きました。

前回と同様にビギナーを参加対象に設定し、八日間二十四時間の短い期間でしたが、基本的な操作を体験学習していたことが出来ました。

参加者のほとんどが「パソコンは買ったけれど使い方がわからずホコリをかぶっている」「普段全く触ったことがない」

第15回商工会ゴルフ大会

十一月十二日、天気はあいにくの雨。それでもゴルフは露天のスポーツ。雨だの、寒いは子供の言うこと。大人はゴルフバッグを持ってコースへ向かう。

といわけで、毎年恒例の商工会ゴルフ大会。異業種間の交流と親睦を目的に今年も阿見ゴルフクラブで開催されました。途中のチャリティーホールで、みなさんに寄付して頂いたお金は阿見町社会福祉協議会へ手渡されました。

今年の優勝は、柴原高明さん(荒川本郷)でした。



APカード 阿見町商業振興会を設立

昨年十一月二十九日、スタンプ券に変わるポイントカード「APカード」の組織、阿見町商業振興会発会式が行われた。

この会は、共同事業としてポイントカードの発行を行い、各種イベントの開催など地元商業振興のための諸事業を行い、会員間の親睦を深めると同時に自主的な経済活動の促進と、地元商業の発展を目指す。

これまで、ポイントカードの設立に携わってきた設立準備委員の中から、本会の初代理事長として、松本三男氏(竹来)、副理事長として米川幸雄氏(青宿)、石部洋介氏(若栗)、湯原英雄氏(中郷東)が選任された。会の組織は、総務委員会・財務委員会・企画開発委員会の3

つに分かれて活動を展開する。注目は企画開発委員会で、委員には会員以外の一般消費者も含まれ、利用者の声を活かしたイベントを数多く企画・展開してゆく予定。

一般消費者にとつてポイントの集めがいのあるイベントを用意することが、この事業の成功のカギを握っていると言っても過言ではない。

利用者層の多くなりそうなカードだけに、利用者層に合わせた多種多様なイベントの企画が望まれる。ポイントカードはまだ始まったばかり。各会員の皆さんと消費者のみなさんのアイデアを活かした楽しいイベントで盛り上げていきましょう。

新会員紹介

商業部会

- ビュティセンター 玉木栄三(廻戸)
- 飯島米穀店 飯島郁雄(中央)
- ペットハウスフォーレ 森本英典(中郷東)

サービス業部会

- まいあみはりきゆう接骨院 緒形由美子(マイアミSC)
- 雨谷接骨院 雨谷紀雄(三区)
- 吉田エンジニアリング 吉田知司(実穀)
- サロンド・YOU YOU 内野恵子(岡崎)
- 郷土民芸研究会 和田喜代子(中央)
- (有)桜デザイン工房 松尾茂(荒川沖)
- 太郎らーめん 島山しげ(吉原)
- (有)アイブルヴ 石井久枝(荒川沖)
- (有)亜美アート 菅原外貴枝(鈴木)
- (有)フイルド 鷹野 稔(荒川沖)

土木建設業部会

- (有)中田電気 中田元紀(島津)
- (株)マキナ 大江輝文(曙)
- (有)菅原工業 菅原 巖(実穀)

工業部会

- (有)木鉛食品 木鉛 明(上条)
- (株)バイオカーボン研究所 秋月美幸(荒川本郷)

ソロバン合格おめでとう

全国商工会連合会が主催する第15回珠算検定試験が阿見小学校において11月14日に開催され、73名の受験者は真剣なまなごとして挑戦しました。合格者は次の通りです。



大橋麻美さん (千代田町)

◆一級合格者◆

◆二級合格者◆

- 伊藤裕志さん(千代田町)
- 酒巻和弘さん(千代田町)
- 潮田真理さん(土浦市)
- 池田奈津美さん(土浦市)
- 高橋幸司さん(土浦市)
- 大沼絵里さん(土浦市)

次回の珠算検定

試験日 H12年2月20日
応募締切 H12年1月14日

お申し込みお問い合わせは阿見町商工会までどうぞ。
※1〜8級の合格者には通商産業大臣(全国商工珠算連盟名誉会長)の合格証が授与されます。

にっこもさっちも?

物事がどうにもならない時に『にっこもさっちもいかな』といいますが、この『にっこもさっちも』は漢字変換すると、『二進も三進も』で、どうやらソロバンの多分計算に関係する用語らしいです。掛け算九九の割り算パージョンで、これを覚えておくと算術はどうにもならないと言った意味が転じて、『身動きがとれない場合』をさすようになったとのことです。

この先、アカルイ。

貯める・安心・借りられる。掛金ひとつで3つの備え
商工貯蓄共済
お申込みは
商工会
茨城県商工会連合会



編集後記

二〇〇〇年の新春を迎え、誠にめでたくございます。ミレニアム(千年)という節目の年にあたり、皆様のご健康とご活躍を祈願し、本年こそ会員の皆様にとつて本当に良き年になりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、『商工あみ』の発刊につきましては、例年格別のご協力を頂いており深く感謝申し上げます。今年もいろいろと明るく楽しい実(将来性)のある話題に着眼して、『商工あみ』の充実と発展を期したいと考えておりますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成十一年 二五

(H)